第8回 帯広市産業振興会議次第

日時:平成22年1月9日(土)10:00~ 会場:帯広市役所庁舎10階第6会議室

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 観光交流拠点施設について
 - ① 市の基本スタンスに係る説明
 - ② 事業趣旨・経過等の説明
 - ③ 提案事業内容の説明
 - ④ 質問・意見等
 - (2) その他

次回の振興会議について

- ○観光交流拠点施設について
- 〇その他

• 日時: 2月18日(木) : ~ :

・会場:未定(別途お知らせ)

4 閉会

平成21年12月11日 議案審査特別委員会資料

観光交流拠点施設について

1 これまでの経過

平成 21 年 3 月 27 日 第 1 回帯広競馬場複合施設化検討会議 平成 21 年 4月 21 日 第2回帯広競馬場複合施設化検討会議 平成 21 年 5月 8日~ 庁内検討会議(計 10回) 平成 21 年 9月 4日 第3回带広競馬場複合施設化検討会議 平成 21 年 9月 7日~ 「ばんえい十勝 にぎわい創出プロジェクト」 事業提案公募開始 平成 21 年 9月14日 産業経済委員会に経過報告 平成 21 年 9月30日 事業者登録締め切り 平成 21 年 10 月 30 日 事業提案提出締め切り 平成 21 年 11 月 6 日 事業者プレゼンテーション及び選考 産業経済委員会に事業予定者及び事業概要の 平成21年11月12日 報告 平成21年12月 1日 12月定例会に補正予算の提案

2 事業予定者(代表)

街制作室(株)

代表取締役 国分裕正

札幌市中央区大通西4丁目6番1 札幌秋銀ビル8階

これまでの管内での事業実績(主なもの)

- ・エスタ帯広西館「とかち食物語」【総合プロデュース】
- ・コープベルデ店【総合プロデュース】
- ・JA木野 ハピオ【総合プロデュース】

3 今後の予定

3月 事業予算の提案(建設費にかかる補助金)

4月 事業着手

7月 供用開始

事業提案概要

- 1.提 案 者 街制作室㈱【札幌市】 象設計集団【音更町】
- 2.コンセプト 「とかちむら」
 - ・小さな家や小屋が立ち並ぶ、集落のような開放的空間
 - ・駐車場から集落的商業空間を通り抜け、競馬場内へ向かう導線
 - ・各店舗には透明なガラスを配し、開放的な外開きにすることにより、外を歩く人にも中の様子が分かり、気軽に立ち寄れる空間

3.概 要

(1)帯広・十勝の魅力を市民・観光客に発信する拠点づくり

十勝の大きな魅力である豊かな自然環境と、そこから生み出される上質な「農・畜・水産品」をより身近に感じられる新たなレクリエーションの場で、十勝の人のみならず、観光客をも惹きつける。

(2)ばんえい競馬・ばん馬の魅力を広める拠点づくり

世界で唯一、帯広でしか見ることのできない「ばんえい競馬」は、十勝の開拓の歴史と文化を伝える貴重な資源であり、多様な目的で来場した人々に、積極的に情報発信し、「ばん馬」そのものが観光目的の一つとなるよう演出。

4. 三つのゾーン

(1)産直ゾーン

- ・十勝の各農協、漁協や生産者団体が生産物を持ちよる農水畜産物市場を形成
- ・十勝産を主体としつつ、北海道各地の加工食品を販売
- ・市場部分では、季節の良い時には建具を全面開放し、露店の雰囲気を演出

(2)レストランゾーン

- ・帯広・十勝を代表する飲食店だけでなく、市民の日常で喜ばれる店揃えで構成
- ・十勝のさまざまなスイーツを楽しめるカフェを運営
- ・飲食店の周辺には板デッキのテラスを作り、戸外での飲食を楽しめる。
- ・テラスからは出走を待つばん馬の姿を眺めながら、お茶を楽しむことができる。
- ・屋上の一部にはレースを眺めることのできる、展望テラスを設置

(3)物產館

- ・十勝のさまざまなクラフトを集め、販売
- ・十勝ブランドともいえるスイーツやナチュラルチーズなどを集積
- ・市民の日常の食材として親しまれることを目指す。

5. 運 営 主 体 SPCとかちむら(株)

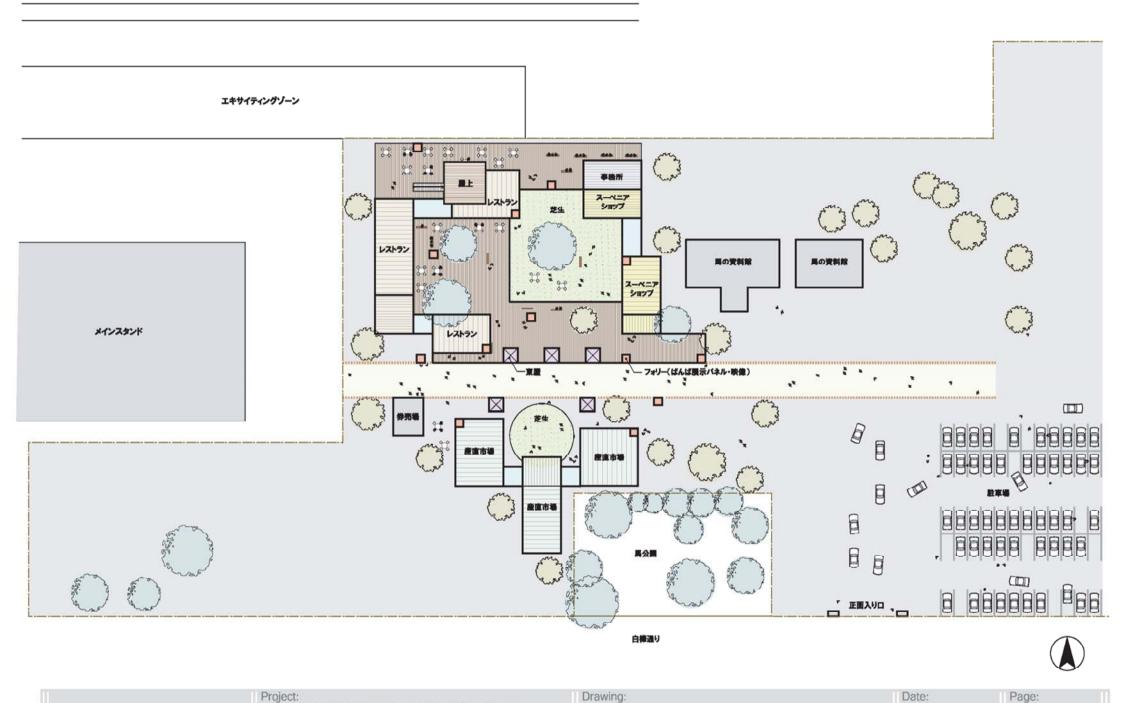
提案者及び地元関連企業で構成する特別目的会社

観光交流拠点施設 提案事業費

支援要望提案額						
	施設名	事業費(千円)				
	産直市場					
建設費	スーベニアショップ(物産館)	156,500				
	レストラン他					
	内 訳	事業費(千円)				
	植栽					
環境整備費	舗装	33,000				
	衛生設備					
	電気設備他					
開設準備費	10,500					
	200,000					

自己負担額							
企画総合プロデュース費	運営計画、出展予定者交渉等開業準備経費等	32,000					
事務所建設費		10,000					
開業販促費		8,000					
	合 計	50,000					

合計	250,000
----	---------

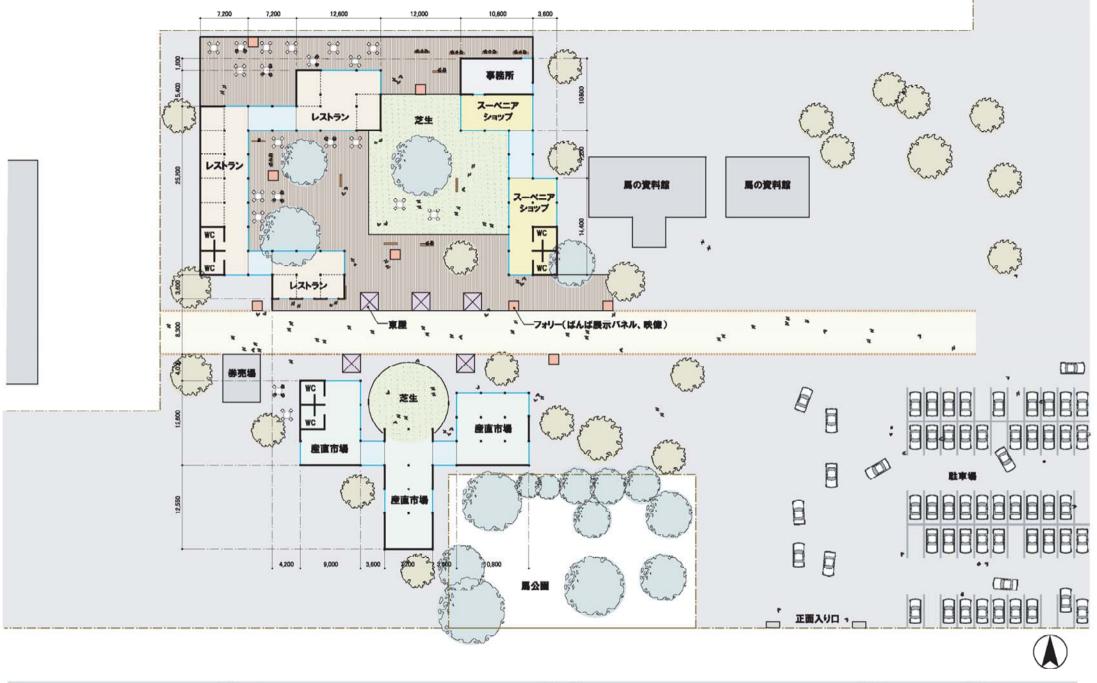


ばんえい十勝にぎわい創出プロジェクト 「(仮称)とかちむら」

配置図 (S=1:500)

Date: 2009. 12. 09

Page: 06



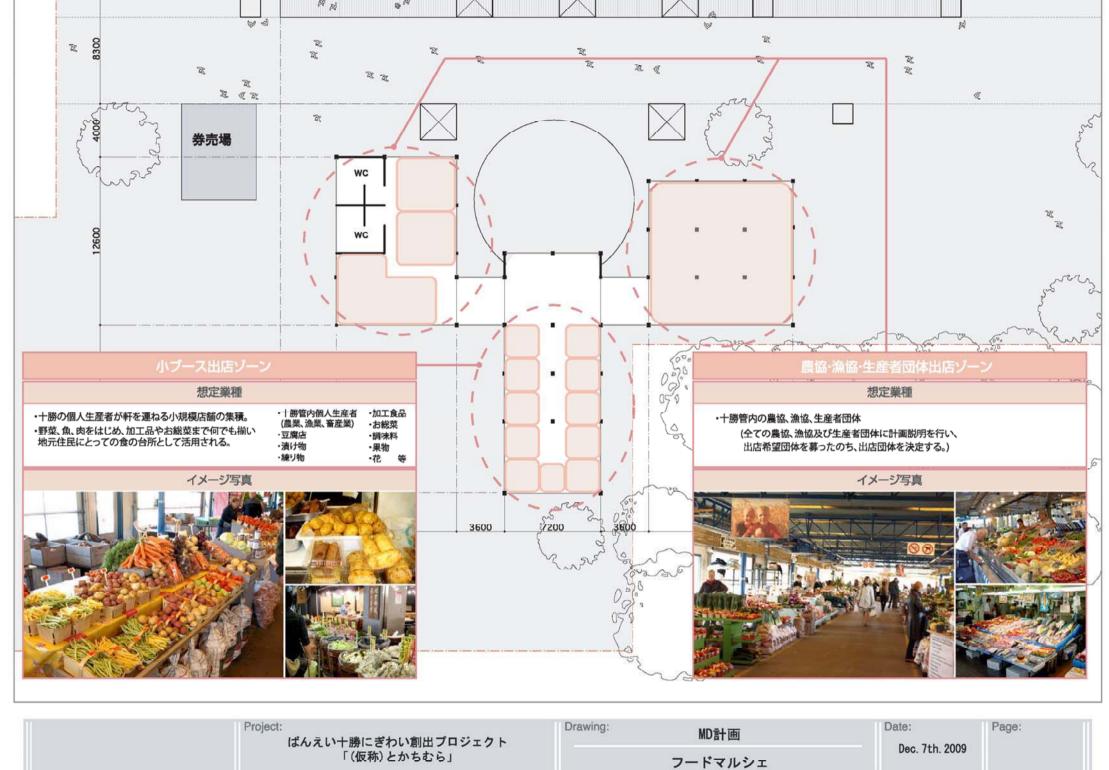
Project: ばんえい十勝にぎわい創出プロジェクト 「(仮称)とかちむら」 Drawing: 平面図 (S=1:400)

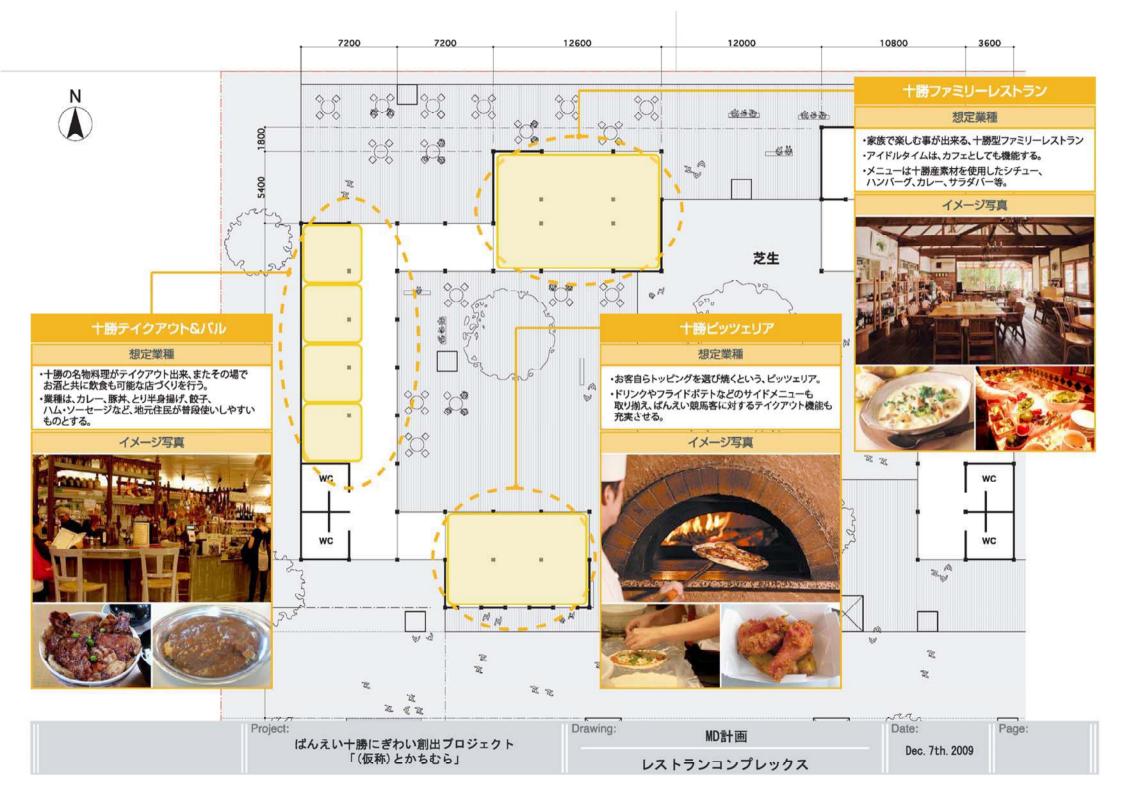
Date:

Page:

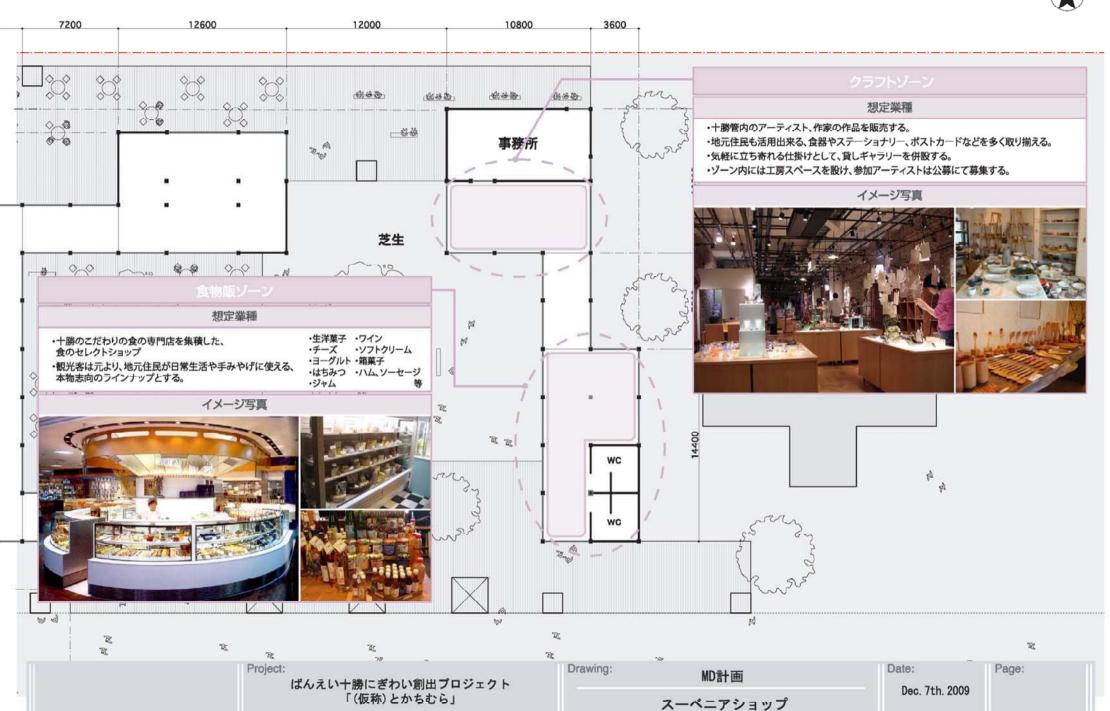
2009. 12. 09

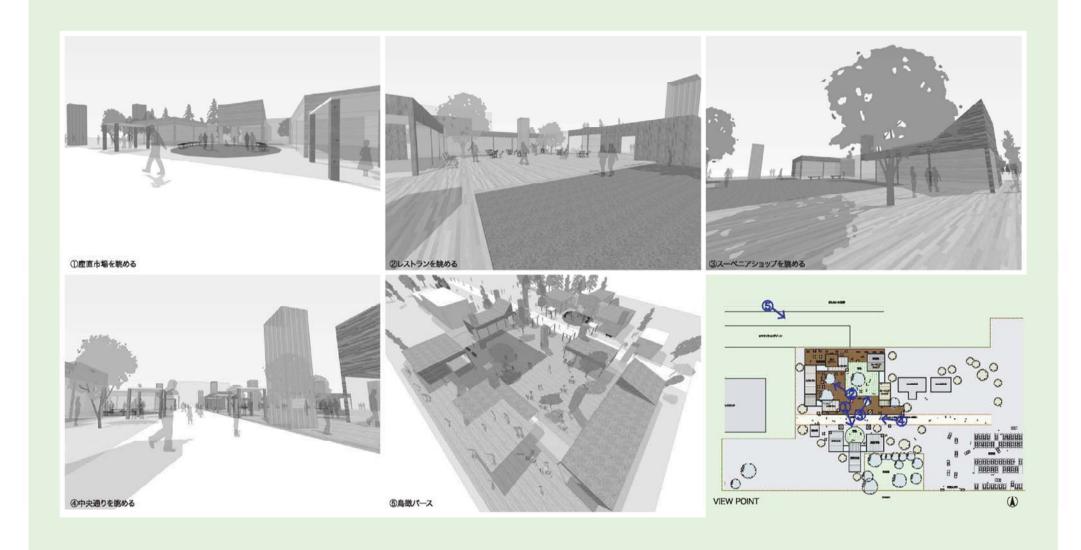
07











バース

平成21年12月11日 議案審査特別委員会資料

SPC とかちむら株式会社

- 1 設立 平成 21 年 12 月下旬予定
- 2 設立目的

帯広競馬場敷地内における、ばんえい十勝にぎわい 創出プロジェクトの実施のみを目的とする株式会社

- 3 資本金 1000 万円
- 4 出資者
- (1) 街制作室㈱ (札幌市)(2) ㈱象設計集団 (音更町)(3) ㈱ネクサス (帯広市)(4) ㈱クリエート (帯広市)
- 5 事業目的
 - (1) 不動産の賃貸及びその管理運営
 - (2) 食料品、日用品の販売
 - (3) レストラン経営
 - (4) その他各号に附帯、関連する事業
- 6 代表取締役(予定)

街制作室㈱ 代表取締役 国分裕正

平成21年12月11日議案審査特別委員会資料

■「とかちむら」計画 (案)

ゾー	想定業態	想定店舗面積		想定売上		想定客単価(円)	年間想定 買上客数(人)	
ン	ン		m [*]	坪	月額(円)	年額(円)		2212000
産直ゾ	農協直売所	約115㎡	約35坪	40, 000, 000				
	個人生産者直売所	(約7㎡×10店舗)	(約2坪×10店舗)					
		約65㎡	約20坪					
リゾー		(約17㎡×2店舗)	(約5坪×2店舗)					
ン	農協・漁協・生産者 団体直売所 (約3	(約33㎡×1店舗)	(約10坪×1店舗)		200, 000	067	FF7 000	
		新65 n	約20坪					
	計	約245㎡	約75坪					
レスト	ピッツェリア	約75㎡	約23坪					
	デイクアウト&バル (約18㎡×4店舗) 約72㎡	(約5.5坪×4店舗)	40, 300, 000	483, 600, 000	867	557, 893		
トラン		約22坪						
ゾー	ファミリーレストラン	約120㎡	約36坪					
ン	計	約267㎡	約81坪					
物	食物販	約76㎡	約23坪					
産	クラフト	約60㎡	約18坪					
館	計	約136㎡	約41坪					
	合 計	約648㎡	約197坪					

「帯広市産業振興ビジョンより抜粋 1

. 産業振興の考え方

産業振興ビジョンで目指す地域産業の姿を、

『地域力をいかした活力ある地域産業の形成』

とし、以下の3つの視点に基づき、中小企業者、経済団体、行政などの適切な役割分担、協働のもと、地域産業の振興に関する施策を展開します。

視点 地域資源を活用した産業の振興

わが国を代表する大規模畑作・酪農地帯「十勝」で生産される豊富な農畜産物、バイオマス資源、安全・良質な地域ブランド、美しい田園景観、良質な水資源、国内有数の日照量など、地域資源、地域特性は、産業振興の観点から優位性を有するものであり、地域の強みとなりうるものです。

これらを地域経済・経営資源として有効に活用することで、新たな付加価値の創出や地域ブランドの形成などを図り、起業・創業の促進、新商品・新技術の開発支援、企業立地の促進、集客・交流産業の振興等に取り組みます。

(5)集客・交流産業の振興

集客・交流産業は、地域外からの購買力を呼び込み、それによって得られた地域所得が 域内の新たな需要を創出することから、雇用創出やものづくり産業、宿泊・飲食等のサー ビス産業などの振興に幅広く寄与することが期待されています。

帯広・十勝の産業や食文化、美しい自然や田園景観などを効果的に活用して、国内外からの集客を促進するとともに、関連産業の振興を図ります。

(裏面に続く)

重点プロジェクトを構成する施策 ふーどツーリズム

展開事業(37) 食観光・産業観光推進

旬の地場食材で料理を提供する飲食店のネットワーク化による地産地消の取り組みを進めます。

四季折々の特徴的な農作業や食品加工現場の視察、体験、試食を通じた産業と観光 を結びつけたモデルルートづくりに取り組みます。

食のメッセにつながる食と物産の新たなイベントを実施します。

花、菓子のほか、飲食、温泉、体験などの要素も取り入れた街めぐりチケット(観光クーポン)の発行を実施します。

十勝で採れる旬の農畜水産物や加工品などを宅配便で注文できる仕組みの創設やアンテナショップの利活用を図ります。

話題性のある飲食ガイドの取り組みとして、民間を主体とした(仮称)「帯広版ミシュランガイド」の発行を検討します。

重点プロジェクト体系図

